



がんばってます



農協も
がんばります



認定農業者の皆様へ

認定農業者の皆様におかれましては、日頃よりJAからつの事業及びJA運営にあたり多大なるご理解とご協力を賜り厚く感謝申し上げます。

さて、農協を取り巻く環境として、信用事業譲渡や准組合員の事業利用規制などJAの在り方を根本的に変える提案がなされると共に農協法が一部改正されJAの自己改革が求められております。

そうしたことを踏まえ、本年は、当JAの第四次マスタープランの初年度であり「農業者の所得増大」・「農業生産の拡大」・「地域の活性化」を基本目標としJAグループの総意と掲げ、JAからつは、自己改革として「意識改革」・「事業改革」・「JA改革」のトリプル改革を役職員一丸となって取組んでいるところでございます。

さらには、マイナス金利の影響により収益力の低下が予想される中で総合事業としての安定した経営を継続していけるかが課題と考えており、皆様と検討を行い解決を図り管内農業の発展に寄与していく所存でございます。

以下のように、JAからつの取組内容の一部をご紹介します。

唐津農業協同組合 代表理事組合長 堤 武彦
常勤役員一同

農業所得増大に向けて

販売価格引き上げのために

- ◎ 米独自直販方式の拡大 ➡ 家庭消費米の配達体制の確立による地元消費拡大を推進します。
現在の直販率40%を60%へ引き上げます。
- ◎ いちご新品種の実験 ➡ 平成29年産から段階的に新品種 i 9号〈仮名〉栽培に試験取組みを実施しています。
- ◎ いちご消費ニーズ対応 ➡ レギュラーパックのほか、各アイテムの対応をパッケージセンターにて行う事により安定出荷と有利販売が実現しました。
- ◎ たまねぎべト病対策 ➡ 平成30年産も県事業の越年罹病株処分対策事業の継続により市町も支援を検討中。
- ◎ ハウスみかん ➡ 市場集約により提案型販売に取り組み高価格形成を目指しています。
- ◎ 肉用仔牛 ➡ キャトルS枝肉共励会によるからつ産子牛PR、分娩間隔の短縮を図っています。
- ◎ 肉用牛 ➡ 共励会出品・参加による有利販売の実現とブランド佐賀牛の輸出拡大を図りました。
- ◎ 外部採卵事業取組み ➡ 外部採卵事業に取り組み、仔牛販売以外に受精卵での販売収入の道を開きました。
- ◎ 加工品開発 ➡ 地元農畜産物を利用した「唐津うまかもんカレー、ジャポネソース、ジュース、ジャム類」等を地区内業者と共同開発しました。今後も開発に取り組みます。 など

生産コストの引き下げのために

- ◎ ハウスみかん省エネ策 ➡ セーフティネット構築事業に加入し生産経費の負担軽減を図りました。
ヒートポンプで暖房費38%の削減ができました。
- ◎ A重油価格対策 ➡ 引き続き価格低減(抑制)に向けJAさがと交渉を行っています。
 - ➡ ① 予約注文(予約結集)を受けスケールメリットによりメーカーとの価格交渉を実現。
(当用価格より4~5%安く価格設定)
 - ➡ ② 肥料・通常予約で5%・満車直行で最大75円引き・大口奨励で最大5%戻しを実現。
(当用価格差で13%のメリット)
 - ➡ ③ 農薬・通常予約で4%・予約結集で α 値引き・大口奨励で最大5%戻しを実現。
(当用価格差で9% + α のメリット)
- ◎ 肥料・農薬のコスト低減 ➡ ④ 飼料・牛: 全農・JAグループさがで価格抑制を継続しています。
豚: 平成28年8月に価格抑制を実施しました。(3,000円/トン引下げ)
 - ➡ ⑤ 県を超えた事業体制の構築を進め仕入れ条件の拡大に取り組んでいます。
 - ➡ ⑥ 隣県との連携によりBB肥料の生産効率向上と物流コスト削減に取り組んでいます。
 - ➡ ⑦ 配合原料の見直しとリン酸・加里成分を低減した低価格肥料の開発・導入を実施。
 - ➡ ⑧ 薬剤の集約に取り組み、仕入れ条件の拡大分は予約価格に反映しています。
 - ➡ ⑨ 価格調査を行いJAが高い物を値下げした特別価格販売を実施しています。
- ◎ 輸送コストの抑制 ➡ 主要取引運送会社代表と今後の輸送対応について協議を行いました。
- ◎ 子会社化の検討 ➡ 生産コスト引き下げのために有効な策を検討いたします。 など

農業生産の拡大のために


- ◎ 集落営農の推進 → 農業の後継者不足・高齢化・農業者の減少に対し「集落の農業は集落で守る」を合言葉に集落営農の組織化を行政と連携し進めています。
- ◎ 遊休農地の対策 → 遊休農地の固定資産課税額増加に対する除外対策や交付金支援策の提案を実施。
- ◎ 有害鳥獣対策 → 各関係団体との連携により問題軽減の支援を行っております。
(AIゲート大型捕獲檻設置・ワイヤーメッシュ等対策)
- ◎ 畜産補助事業取組み → ①畜産クラスター事業により繁殖牛舎建設を行い、規模拡大への寄与し担い手不足と高齢化等に対する繁殖基盤の強化を図りました。
→ ②機械導入事業により、牛舎衛生管理・飼養管理の改善、労働力の軽減により畜産経営の安定化を図りました。
→ ③畜産クラスター事業により馴致牛舎・カーフパネル・育成牛舎・堆肥舎を整備し地域の仔牛生産拠点の維持と肉用牛振興を進めております。(キャトルS)
- ◎ 生産維持の後方支援 → 外国人技能実習生を受入れ労働支援体制を整備し農業生産の安定維持に努めます。
(平成30年1月～)
- ◎ 技術指導の向上 → ITタブレット導入により現場でタイムリーな指導ができる体制を検討中(H30、4導入)
- ◎ 農業近代化資金 → 個人借入上限1,800万円以内とし認定農業者特例として事業費の100%と長期・低金利制度資金の対応。(長期金融協会利子助成により)
- ◎ 農業サポート資金 → 営農の運転資金・設備資金として、原則、無担保・無保証、融資額300万円以内で5年以内。100万円以上は、JAバンク利子補給1%の対象。
- ◎ アグリステップアップ資金 → 認定農業者向け運転・設備資金。長期資金で基準金利1.8%が最低0.2%。
県連利子補給5年+JAバンク利子補給3年。
- ◎ 農業融資相談活動 → JA自己改革の実現に向けメイン強化先(認定農業者・農業法人・集落営農組織)を中心に訪問活動を行っています。(各種応援プログラム・県域企画の事業提案)
など

地域・組合員に対するJAの存在感の向上

- ◎ 正組合員との意見交換 → ①認定農業者の皆様方を訪問し意見交換を行っています。
→ ②支所運営委員会・地区運営委員会を開催し課題と意見集約を行っています。
- ◎ 組織基盤強化として → ①女性部活動を中心とした食農教育の活動を行っています。
→ ②准組合員及び地域住民の方を対象としたJA事業の内容及び理解を呼びかけた広報誌を定期的に発行しています。
→ ③地域住民へ農業まつり・支所まつりを通し農業への理解を呼びかけています。
- ◎ 人・財産の総合保障 → 共済事業の3Q訪問活動を通し「あんしんチェック」と相続税相談を実施しました。
組合員・利用者の利便性を図るため日曜日なんでも相談会を実施しています。
など

認定農業者の皆様へのアンケート

(該当する箇所・思うところを○で囲んでください)

1	あなたの年齢・性別は	①20代 ②30代 ③40代 ④50代 ⑤60代 ⑥70代以上	①男 ②女
2	あなたの主な作物・畜種は	①() ②() ③()	
3	J Aのどの部門を利用されていますか (複数回答可)	①利用していない ②農産物共同販売・指導 ③畜産物共同販売・指導 ④共同選果場(果樹・野菜) ⑤肥料・農薬 ⑥飼料 ⑦資材センター ⑧給油所 ⑨農業機械関係 ⑩自動車関係 ⑪共同購入 ⑫貯金関係 ⑬借入関係 ⑭共済関係 ⑮葬祭センター ⑯その他()	
4	○政府は、JA数を半減させる考えです あなたは、当JAを必要と思いますか 無くてはならないと思いますか	①必要と思う、無くてはならないと必要である ②どちらかと言うと必要でない ③どちらかと言うと必要でない ④必要でない ⑤必要理由をお聞かせください	
5	J Aのどういう所が必要と思いますか	①() ②() ③()	
6	J Aの対応についてどう思いますか	①満足している ②満足まではない ③まだ努力が必要 ④数段の努力を希望する ⑤満足していない	
7	J Aの自己改革に取り組んでおられますが、取り組んでいるところが見えますか	①取り組んでいるのが分かる ②もともと進めてほしい ③していると思う ④何をしているの ⑤していると見えない ⑥見えない ⑦進めてほしい ⑧見えない ⑨見えない	
<p>※あなたの意見をご自由にお聞かせください。 ※今後のJA自己改革並びJA経営に反映させていただきたく重要なご意見とさせていただきます。</p>			
●JAに望むこと ●JAに自己改革してもらいたい所 ●その他として			
●JAに望むこと ●JAに自己改革して ●その他として			

©アンケートにお答え頂きありがとうございます。中央線より切り離し最寄りの支所へお預けいただきますようお願い申し上げます。